

令和5年度 第3回
全国健康保険協会福岡支部評議会 議事概要

日 時：令和6年1月12日（金）10：00～12：00
場 所：全国健康保険協会福岡支部 会議室

出席評議員：井上評議員・鬼崎評議員・木塚評議員・谷評議員・野田評議員・
馬場園評議員・吉岡評議員・米田評議員（五十音順）

1. 議題

- （1）令和6年度協会けんぽ保険料率について
- （2）インセンティブ制度について
- （3）令和6年度福岡支部事業計画（案）・支部保険者機能強化予算（案）について
- （4）第3期福岡支部データヘルス計画について

2. 議事概要

（1）令和6年度協会けんぽ保険料率について

（2）インセンティブ制度について

事務局より、資料1、2、3に沿って説明。

《主な意見と回答》

【被保険者代表】

インセンティブの配点が250点から320点に増えたことによりどんな影響があるのか。また、福岡支部の5つの評価指標の順位では、22位、3位、20位、11位、19位なのに、なぜ総得点では6位と高い順位なのか。

それから、料率に関しての準備金残高の取扱いについては、引き続き議論していただければと思っているが、支部長意見（案）の意見の要旨について、下がるのに「やむを得ない」という表現はそぐわないのではないか。

【事務局】

評価指標の見直しについては、保健事業の部分について実績だけではなく対前年度上昇幅や上昇率の評価割合を高めるのと、保健事業そのものの配点

を増やすことで保健事業推進の底上げを図るということで行われた。得点数については、250点から320点に増えてはいるが、財源の拠出は0.01%で変更はないため、見直しによるインセンティブ財源の拡大はない。ただ、減算対象支部が15支部に絞られているので、各支部の減算される割合が大きくなっている。また、偏差値方式で得点を合計し順位付けを行うようになっており、福岡支部においては、保健事業の部分において得点が大きかったため総得点で6位となった。

支部長意見（案）についてのご指摘については改めて検討させていただきたい。

【被保険者代表】

インセンティブの見直しの考え方だが、底上げを図ることが目的になっており、前年度からの上昇分の比重をより高めたことにより、実施率、成績が低かったところにインセンティブが効き、実績がずっといいところはなかなか効かない。成績が良くなると伸びしろが少なくなり、今後非常に厳しくなる。今回6位だったが、次年度以降、より厳しくなるのではないかという気がするが、このような理解でよいのか。

【事務局】

今回、伸び率の部分で大きくポイントを稼いでいるので、令和5年度の実績の評価については、ご指摘のとおり若干厳しいところも想定される。今後は、事業内容やアプローチ対象をどうするか検討しながら、効果的に事業を進める必要があると考えている。

【事業主代表】

小規模事業者の立場では、現在もコロナ禍を引きずって苦しい状況にある。準備金残高が年々積みあがっている状況を踏まえ、時限措置として一時的に保険料率を引き下げ景気の回復を待つ、といったこともご検討いただきたい。

【事務局】

加入者の皆様の健康づくりと医療費の適正化に努めるとともに、国庫補助率の引き上げについて、引き続き国に働きかけを行っていきたい。ご意見については、今回の支部長意見（案）に反映させたい。

【学識経験者】

毎年医療費が上がっている中で、保険料率を下げるというのはなかなか難

しい。医療費適正化においては、若年層も含めた禁煙や糖尿病対策が重要。また、サプライサイドへの病床数削減などの働きかけに力を入れたほうが医療費抑制に効果的である。

【学識経験者】

今後、後期高齢者支援金を減らしていくのは現実的に難しい。今ある制度の枠組みの中で出来る取組を打ち出していくことが現実的である。

【事業主代表】

高齢者への支援金や国庫負担も含めた健康保険の構造自体が変わらないと、根本的な解決にはならない。2050年には総人口が1億人を割り込むと推計されており、生産年齢人口はますます減っていくなか、制度を維持していくための抜本的な改正が必要である。また、保険料率が変更となると対応する労力も発生する。インセンティブ制度については有難いが、下がる金額が少ないのであれば、保険料率は数年間変わらない方がよいと考える。また、マイナンバーカードの普及は、将来にわたってコストセーブになるのか。

【事務局】

マイナ保険証への切り替えが進めば、オンライン資格確認の活用により、資格喪失後受診や保険者間調整といった負担が減ってくると考えている。

【学識経験者】

インセンティブ制度を使って、保険者機能を発揮させている。他の先進国で行われているが、保険者機能として重要なのは、医療機関の診察や治療法などの成績を公開していくこと。あるいは、マイナンバーカードを使うことによって薬等の乱用をチェックすることも、保険者機能を高めるためには有効と思う。

【学識経験者】

マイナンバーカードを周知徹底するまでに、かなり時間がかかる。

【事務局】

協会としては、マイナ保険証の利用促進にかかる広報について、特別広報テーマとして次年度は注力していく。

(3) 令和6年度福岡支部事業計画(案)・支部保険者機能強化予算(案)

について

事務局より、資料 4、5 及び参考資料 1-1、1-2、2 に沿って説明。

令和6年度福岡支部事業計画案・予算案については、修正についての特段の意見はなく、評議会として承認。

《主な意見と回答》

【学識経験者】

予防と効果がはっきりしているのは、まず禁煙、次が糖尿病の早期発見と重症化予防。糖尿病で合併症が出てくるのに 20 年くらいかかる。本来は若い人たちにアプローチすべき。若くて境界型だったら糖尿病になる確率が高いため、若い人達にアプローチするのも有効だと思う。

【被保険者代表】

保険者機能の強化について、予防にお金を使うべきか、治療に対して適正にお金が使われているかをチェックすることにお金を使うべきか。保険者としてどちらに向かっていくべきか。

【学識経験者】

予防とか治療にかかわらず、費用対効果があるものについてお金を使っていく。医療というのは大きいお金が動く分野なので、エビデンスどおりにやろうと言っても反対する人々もいてうまくいかない。もう少し支払い側が強く出てもいいと思う。先進国で、これだけ支払い側が弱いのは日本だけである。

【学識経験者】

国民皆保険制度以降、いつの間にか、医療保険制度が医者が儲かるような仕組みになってしまっている。縮小していくような経済社会状態の中では、やはり見直しをして行かざるを得ないと思う。

【事務局】

禁煙勧奨通知については、喫煙率が高い支部にて実施しているところがある。効果検証として、毎年 10%位が禁煙に変わっているというデータもある。地域性や喫煙率の違いがあるため、同じような効果を得られるか不明だが、対象者の選定や通知内容についても、他支部の結果を参考にしながら、効果的な取り組みになるように実施していきたい。

【事業主代表】

加熱式タバコも、この禁煙勧奨通知の中にも含まれるのか。今はどちらかというと加熱式タバコが幅を利かせており、加熱式タバコであれば屋内で吸っていい等、害のないもののような結構緩やかな扱いを受けているという部分もみられる。ニコチンだけでも含まれているのであれば、体には良くはないと思うが。

【学識経験者】

紙巻きタバコにはタールが入っており、非常に強い発がん性物質や、低温燃焼のためアンモニアやホルムアルデヒドなどの化学物質による有毒ガスがまき散らされる。子供の肺炎とか喘息の原因になったりするというエビデンスや受動喫煙により配偶者が肺がんになったりするというのが明らかにされている。ニコチンも有害成分で、麻薬と変わらない。また、動脈硬化を引き起こして脳卒中や心筋梗塞を起こしやすくし、本人には害があると言われている。加熱式タバコについても本人に関しては害があるが、他人にどれだけ害を与えるかというのはまだわかっていない。

（４） 第３期福岡支部データヘルス計画について

事務局より、資料６及び参考資料３-１、３-２に沿って説明

第３期福岡支部データヘルス計画については、修正についての特段の意見はなく、評議会として承認。

《主な意見と回答》

【被保険者代表】

費用対効果とデータ分析をしっかりといただきたい。

【学識経験者】

禁煙対策は、喫煙率が高いところをターゲットにしたほうが、効果はあると考えられる。喫煙率の高い運輸業や建設業などの業種、あるいは地域に対応するというのが重要ではないかと思う。

【被保険者代表】

従業員の喫煙場所を設置しているが、従業員がタバコ臭いとお客さんからクレームがあり、紙巻タバコと加熱式タバコの場所を分けている。産業医から従業員に禁煙の働きかけを行っても、本人にやめる意志がないと、のりくりというのが現状。また、百貨店のため、お客様に対してもサービスの一つ

として喫煙する場所を提供するという現状もある。

【学識経験者】

タバコの害、喫煙の害は、各種媒体によりかなり啓発に取り組んでいるので、タバコが体に良くないのは多く的人是はわかってきている。よく言えば嗜好品、悪く言えば中毒なので、病気などのきっかけがないとやめない人が多い。

【被保険者代表】

以前、禁煙教室を実施したが、誰が何と言おうとやめない人にどんなにプログラムを示しても従ってくれない。ターゲットはやめたい意志を持っている人にしないと。今、減っているのは健康増進法の施行に伴い、この際やめようと思ってやめてきた人が多いが、今も喫煙している人は手ごわい人なので対策を丁寧にやったほうがいい。

【学識経験者】

禁煙を増やすことが、本人の幸せにも繋がるし、医療保険の財政にも貢献をする。全国的に見ても３割を切っているので昔から比べたら随分少なくなっている。

(以 上)